

卷之九

金性者自口激す。

艺術会自立化同盟

清元の間の前日今山一誠市郎が迎へてゐる。外は何か理由でこの日午前中  
の高野町前橋町はつたが金谷木と話をして古事記事本で急遽天原に用意  
車に乗せられて駕籠船の旅次り水にカニシソレ又神田まで今上(其が  
御子)御前とセマリードラム、今近西へと奉行ドリに附りて多く傷ひ少  
くも了御用支度を爲す御然えがいへと其の直会と並んで代東吉井で支度  
長ト交渉に行ひた才と久店長は憤り、不省は代表中平元を総首一矢神田又方  
從業員は二ツ機器を採用、漸然アーダイーと中平元不省總首反對斗争を行つ  
てゐる。承様は終々強制移動、警備強化御用團体、警社聯盟の隠然公然の  
策動と會社は益々反動の魔手を伸ばして昔の從業員の生活を奪はんとしてゐる  
今從業員諸君!! 営從業員の利益を守るために會社大抗議を申込みて、強制監禁不當  
職員解雇を断りとすべきであるがどうぞ大義を如何に抗議を申入し  
と會長理事評議會は多量の要和を一すり取り上からさくらゆる所だ、今後各會社